

**2017 年 11 月（第 6 版）（新記載要領に基づく改訂）

*2013 年 2 月 4 日改訂（第 5 版）

医療機器製造販売届出番号：13B1X00274000165

類別及び一般的名称：機械器具（58）整形用機械器具／脊椎手術用器械

一般医療機器（JMDN コード：70963001）

販売名：S プレート用手術器械

**【禁忌・禁止】

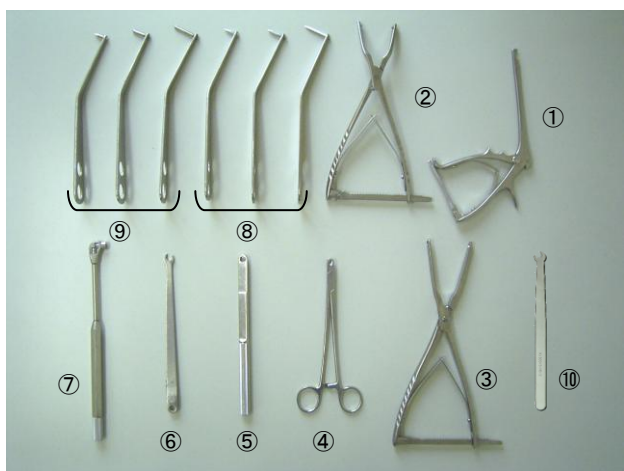
1. 本製品の加工、改造等は絶対に行わないこと。[振動、切削、打刻等により製品を著しく劣化、消耗させ、故障、破損の原因となるため]

【形状・構造及び原理等】

1. 原材料／材質：ステンレス鋼

2. 形状、構造

本製品の形状は以下のとおり。



構成

	製品番号	製品名
①	S-15-1	プレート把持鉗子
②	S-15-2	プレート固定鉗子
③	S-15-3	挿入鉗子
④	S-15-4	ボルト鉗子
⑤	S-15-5	ナットホルダー
⑥	S-15-6	レンチ
⑦	S-15-6L	L型レンチ
⑧	S-15-7-S/M/L	角型オウル小/中/大
⑨	S-15-8-S/M/L	丸型オウル小/中/大
⑩	S40901147V0001	ナットスパナ

**3. 原理

本製品の使用により、S-プレート、及びSプレートの手術を可能にする。

【使用目的又は効果】

本製品は、脊椎固定手術等の脊椎手術のために用いる手術器械である。

**【使用方法等】

1. 本製品は未滅菌品である。【保守・点検に係る事項】の手順に従い、使用前、使用后には必ず点検を行い、洗浄及び滅菌を行うこと。
2. 使用方法
 - 1) プレート把持鉗子
プレートを把持する。

- 2) プレート固定鉗子
プレートの両端を挟み、仮固定する。
- 3) 挿入鉗子
角型オウル、及び丸型オウルを挟む。
- 4) ボルト鉗子
椎体ボルトを把持する。
- 5) ナットホルダー
ナットを把持する。
- 6) レンチ
レンチにて確実に締結する。
- 7) L型レンチ
L型レンチの自動式側を使用しボルトを締める。
- 8) 角型オウル
角型オウルを用いて、棘突起に孔を開ける。
- 9) 丸型オウル
椎体ボルトと同径である丸型オウルを使用し孔を広げる。
- 10) ナットスパナ
ナットを締結・抜去する。

**【使用上の注意】

1. 相互作用

【併用禁忌】（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
弊社が認めていない他社製品。	正常な機能が得られない恐れがある。	操作上の整合性が確認されていない。

2. 不具合、有害事象

以下の不具合・有害事象が発現する可能性がある。

【重大な不具合】

- ・ 不適切な取り扱い、洗浄、管理による破損、変形、腐食、分解、変色、屈曲
- ・ 金属疲労による器械器具の破損、分解

【重大な有害事象】

- ・ 不適切な取り扱い、使用方法による血管、神経、軟部組織、筋肉、内臓、骨、若しくは関節の損傷
- ・ 破損した器械器具の破片の体内留置
- ・ 感染症
- ・ 金属アレルギー
- ・ インプラントの破損、折損、ルースニング

以上の有害事象の治療のため、再手術が必要な場合もある。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- *1) 本製品は、高温、高湿を避け、塵やほこりのない清潔な場所に保管すること。また、水気や薬品、直射日光に曝されないよう細心の注意を払うこと。
- 2) 本製品は保管の際、変形や損傷の原因となりうる硬い物への接触や、衝撃を避けるよう注意を払うこと。

*2. 使用期間

【保守・点検に係る事項】の3.に基づき点検した結果、不良箇所が認められたとき及び不良が疑われるとき。

使用するシステムの添付文書及び手術手技書を参照すること

**【保守、点検に係る事項】

1. 洗浄（推奨例）
 - 1) 使用後は直ちに洗浄を行うこと。直ぐに洗浄できない場合は、血液溶解剤に浸漬したり、蛋白凝固防止剤を噴霧するなどして、汚れが固着しないように予備洗浄すること。
 - 2) ステンレス鋼を腐食させる可能性があるため、塩素系の消毒剤の使用は避けること。
 - 3) 取り外せるタイプの製品は取り外し、ストッパーのあるものは開き、医療用中性酵素系洗浄剤に浸漬したのち、やわらかい洗浄用ブラシ等で入念に洗浄する。洗浄後は血液塊等の異物がないことを確認する。
 - 4) 残留洗剤や組織片等がなくなるまで完全脱イオン水（RO水）で十分にすすぎ、清潔な布で水分を拭き取ること。
 - 5) 洗浄後は腐食防止のために直ちに乾燥すること。
 - 6) 強アルカリ、強酸性洗剤・消毒剤は器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けること。やむを得ず使用する際は、本製品の状態を確認し腐食が発生しないよう洗浄すること。
 - 7) 錆取、熱ヤケ除去作用のある洗浄剤を使用すると、表面光沢が変化する場合がある。
 - 8) 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚物除去及び洗浄時に使用しないこと。
 - 9) 機械洗浄する場合は、各施設での洗浄ガイドラインに従い、洗浄時間、手順等については使用する装置の取扱説明書を遵守すること。洗浄剤の使用は上記の方法に従うこと。
 - 10) 洗浄装置（超音波洗浄装置等）を使用するときには、鋭利部同士が接触して損傷することがないように注意すること。

2. 滅菌

洗浄を行った後、滅菌処理を必ず行うこと。

下記の条件、あるいは滅菌装置の製造元、又は施設の定める方法で滅菌を行うこと。

推奨滅菌条件（日本薬局方より）

滅菌方法	温度	時間
高圧蒸気滅菌	115～118℃	30 分間
高圧蒸気滅菌	121～124℃	15 分間
高圧蒸気滅菌	126～129℃	10 分間

但し、クロイツフェルト・ヤコブ病に罹患している、或いはその疑いがある患者の手術を行った場合は、「クロイツフェルト・ヤコブ病感染予防ガイドライン」で推奨されている洗浄・滅菌方法にて処理すること。

3. 使用者による保守点検事項

- 1) 使用前及び使用後は、本製品に汚れ、変形、キズ、ヒビ割れ、破損、ネジ・ピン等の緩み、外れ等がないか、先端部で把持できるか、ストッパーのあるものはストッパーが掛かるか、構成品が揃っているか、機能低下等がないか、動作、外観に異常がないか確認すること。
- 2) 鉱物油、石油、シリコーンベースの潤滑剤は使用しないこと。
- 3) 必要に応じて点検し器具が正常に動くことを確認すること。その際、破損、機能低下がないか十分点検を行うこと。
- 4) 使用を重ねることにより受ける、反復的な応力により金属疲労に曝されるため、明らかな疲労が見られる場合は、その器具は破棄し新しい製品と取り替える必要がある。

4. その他の保守点検事項

- 1) 本製品は、必ず定期的な保守、点検に出すこと。また、未使用の場合でも1年に1回は必ず保守、点検に出すこと。
- 2) 本製品は、当社以外の修理業者に修理を依頼しないこと。
- 3) 本文書中で不明な点は、下記連絡先に問い合わせること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者、製造業者

株式会社 田中医科器械製作所

TEL : 03-3894-7700

FAX : 03-3894-7795

URL : <http://www.e-tanaka.co.jp/>

【販売元】

株式会社 イトー医科器械

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里 6-48-15

TEL : 03-3806-2690

FAX : 03-3806-2650

使用するシステムの添付文書及び手術手技書を参照すること